

# りんご

散布時期		発生病害虫	薬剤名 (水100ℓ当薬量)	10a当り散布薬量	使用時期・回数 りんご	注 意 事 項																																																																		
黒星病の重点防除	3月下旬 (発芽前まで) (月 日)	ハマ腐ニリア類 アカリブライムシ インゴド 黒胸	水 (98ℓ) ハーベストオイル 50倍 (2ℓ) ベルコート水和剤 1,000倍 (100g) アプロードフロアブル 1,000倍 (100cc)	350ℓ	芽出し直前・直後 収穫前日・6回 (開花以降・3回) 30日前・2回	1. 腐らん病、黒星病の同時防除を兼ねて、石灰硫黄合剤 (7倍) 散布も大変有効です (休眠期) 2. 近年生育の途中で、カイガラムシによる被害が目立ち始めています。この時期アプロードフロアブルを加用して、たっぷり、ていねいに散布する。																																																																		
	発芽10日後 前回散布7日後	黒星病 赤星病 黒星	デランフロアブル 1,000倍 (100cc) ジマンダイセン水和剤 500倍 (200g)	350ℓ 400ℓ	60日前・3回 30日前・3回	<p style="text-align: center;"><b>黒星病防除における注意点</b></p> <p>①黒星病防除で、一番重要な事は子のう胞子による一次感染を如何に抑えるかが重要なポイントです。その時期は、展葉直後～落花30日頃まで (発病適温15～20℃と比較的低温を好む) この時期の防除を徹底する。 ②散布水量のみなおし 500ℓ/10aが目安 ③散布間隔は10日以内とし、雨が予想される場合は、必ず前倒して、雨前散布を行う。(できなかった場合、雨上がり直後行う) ④耕種的防除 (被害葉を圃地から除去、<u>薬剤がかかるように剪定を行う</u>) 等も合わせて行う。</p>																																																																		
4月下旬 (開花直前) (月 日)	黒星病 赤星病 うどんこ病 (モニリア病) ハマキムシ類	展着剤 カナメフロアブル 4,000倍 (25cc) チオノックフロアブル 500倍 (200cc) フェニックスフロアブル 4,000倍 (25cc)	400ℓ	前日・3回 30日前・5回 前日・2回																																																																				
5月中旬 (落花直後) (月 日)	黒星病 赤星病 うどんこ病 斑点落葉病 ハマキムシ類 モモシンクイガ クワコナカイガラムシ	ミギワ20フロアブル 4,000倍 (25cc) チオノックフロアブル 500倍 (200cc) モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)	500ℓ	前日/3回 30日前・5回 前日/3回	1. 訪花昆虫に十分注意するとともに、おうとう隣接園では、ファイブスター顆粒水和剤またはデルフィン顆粒水和剤を使用する。 2. この時期から6月上旬までサビ果や生理落果等でやすいので、各種乳剤、有機りん剤の使用には注意する。																																																																			
5月下旬 (落花10日後) (月 日)	斑点落葉病 黒星病 赤星病 アブロン	ブローダ水和剤 500倍 (200g) アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) アブロン 100倍 (1kg)	700ℓ SSは 500ℓ以上	30日前・3回 7日前・2回 ○	1. モモシンクイガの発生が多く合成ピレスロイド剤を使用できない園では、シンクイコンを成虫発生前に10a当り150本設置するのも有効である。発生の多い場合は8月上旬に追加設置する。 <b>ナシマルカイガラムシ対策</b> 近年、ナシマルカイガラムシの被害が多く見られます。 歩行性幼虫発生時期の日安 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>対象害虫名</th><th>第1世代</th><th>第2世代</th></tr> <tr><td>ウメシロカイガラムシ</td><td>5月下旬頃</td><td>8月中旬頃</td></tr> <tr><td>ナシマルカイガラムシ</td><td>6月中旬頃</td><td>8月中旬頃</td></tr> </table> <p>◎前年被害の発生が多く見られる園地では、よく観察すること。 ◎防除のタイミングは6月上旬頃、幼虫の孵化直前の時期にコルト顆粒水和剤3,000倍 (前日・3回) を枝幹に十分散布すること。</p>	対象害虫名	第1世代	第2世代	ウメシロカイガラムシ	5月下旬頃	8月中旬頃	ナシマルカイガラムシ	6月中旬頃	8月中旬頃																																																										
対象害虫名	第1世代	第2世代																																																																						
ウメシロカイガラムシ	5月下旬頃	8月中旬頃																																																																						
ナシマルカイガラムシ	6月中旬頃	8月中旬頃																																																																						
6月上旬 (落花20日後) (月 日)	黒星病 うどんこ病 斑点落葉病 病ガニ 黒星病 黒キハ	ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (33g) ヨールフロアブル 5,000倍 (20cc) トランスフォームフロアブル 2,000倍 (50cc) ダニコングフロアブル 2,000倍 (50cc) アブロン 100倍 (1kg)	700ℓ SSは 600ℓ以上	前日・3回 前日・2回 前日・3回 前日・1回 ○	1. 黒星病の被害果は摘果の時、見つけ次第摘み取って焼却する。 2. 黒点病防除の重要な時期であるから、ていねいに散布する。																																																																			
斑点落葉病の重点防除	6月中～下旬 (月 日)	黒星病 斑点落葉病 病ガニ 黒星病 黒キハ	展着剤 オンリーワンフロアブル 2,000倍 (50cc) バイスロイドEW 2,000倍 (50cc) アブロン 100倍 (1kg)	700ℓ SSは 600ℓ以上	7日前・3回 7日前・4回 ○	<b>(6月上旬から、7月下旬までは黒星病の2次感染時期です。)</b> ※6月上旬～7月上旬：サクランボ収穫時期になりますが、散布間隔に注意 (10日以上あけない) 7月上旬～8月中旬：梅雨時期 (特に長雨、低温が続いた場合) 再度：散布間隔は10日以上あけない。																																																																		
7月上旬 (月 日)	黒星病 炭疽病 炭疽病 炭疽病 炭疽病	展着剤 ナリアWDG 2,000倍 (50g) バリアード顆粒水和剤 2,000倍 (50g) アブロン 100倍 (1kg)	700ℓ SSは 600ℓ以上	前日・3回 前日・3回 ○	1. ナリアWDGは散布時期により、なし (ル・レクチュエ)、ブドウ (ピオーネ・藤稔・サニールージュ・シャルドネ) には葉、果実に薬害を生じるおそれがあるので周辺にある場合には注意して散布して下さい。 2. 褐斑病の発生が例年多い園では、パレード15フロアブル 2,000倍 (50cc) (前日/2回) を加用する。																																																																			
キンモンホソガの重点防除	7月中旬 (月 日)	黒星病 炭疽病 炭疽病 炭疽病 炭疽病	展着剤 ユニックス顆粒水和剤 2,000倍 (50g) ドキリンフロアブル 1,000倍 (100cc) ディアナWDG 1万倍 (10g) マイトコーネフロアブル 1,000倍 (100cc)	700ℓ SSは 600ℓ以上	14日前・4回 14日前・4回 前日・2回 前日・1回	※ユニックス顆粒水和剤を使用する際は、おうとう (特にナポレオン、南陽) に対しては薬害を発生するおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意する。																																																																		
	7月下旬 (月 日)	黒星病 炭疽病 炭疽病 炭疽病 炭疽病	展着剤 オキシラン水和剤 600倍 (166g) ベンレート水和剤 2,000倍 (50g) アーデントフロアブル 2,000倍 (50cc) アブロン 100倍 (1kg)	700ℓ SSは 600ℓ以上	14日前・4回 前日・4回 前日・3回 ○	<p style="text-align: center;"><b>黒星病防除剤の使い方</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>農薬名</th> <th>濃度</th> <th>使用時期・使用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">E B I 混合剤</td> <td>ブローダ水和剤</td> <td>500倍</td> <td>30日前・3回</td> </tr> <tr> <td>オンリーワンフロアブル</td> <td>2,000倍</td> <td>7日前・3回</td> </tr> <tr> <td>アスパイア水和剤</td> <td>500倍</td> <td>30日前・3回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">S D H I 剤</td> <td>カナメフロアブル</td> <td>4,000倍</td> <td>前日・3回</td> </tr> <tr> <td>フルーツセイバー</td> <td>2,000倍</td> <td>前日・3回</td> </tr> <tr> <td>パレード15フロアブル</td> <td>2,000倍</td> <td>前日・2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ジチオカーバメート剤</td> <td>ジマンダイセン水和剤</td> <td>600倍</td> <td>30日前・3回</td> </tr> <tr> <td>アントラコール顆粒水和剤</td> <td>500倍</td> <td>45日前・4回</td> </tr> <tr> <td>チオノックフロアブル</td> <td>500倍</td> <td>30日前・5回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">フタルイミド剤 ビスグアニジン</td> <td>オーソサイド水和剤</td> <td>800倍</td> <td>前日・6回</td> </tr> <tr> <td>ベフラン液剤</td> <td>1,500倍</td> <td>前日・3回</td> </tr> <tr> <td>ベルコート水和剤</td> <td>1,000~2,000倍</td> <td>前日・3回</td> </tr> <tr> <td>キノン系</td> <td>デランフロアブル</td> <td>1,000倍</td> <td>60日前・3回</td> </tr> <tr> <td>マレイミド剤</td> <td>ストライド顆粒水和剤</td> <td>1,500倍</td> <td>前日・3回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">混合剤</td> <td>ナリアWDG</td> <td>2,000倍</td> <td>前日・3回</td> </tr> <tr> <td>アリエッティC水和剤</td> <td>800倍</td> <td>前日・3回</td> </tr> <tr> <td>オキシラン水和剤 ダイパワー水和剤</td> <td>500~600倍 1,000倍</td> <td>14日前・4回 前日・3回</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>ミギワ20フロアブル</td> <td>2,000~4,000倍</td> <td>前日・3回</td> </tr> </tbody> </table>	分類	農薬名	濃度	使用時期・使用回数	E B I 混合剤	ブローダ水和剤	500倍	30日前・3回	オンリーワンフロアブル	2,000倍	7日前・3回	アスパイア水和剤	500倍	30日前・3回	S D H I 剤	カナメフロアブル	4,000倍	前日・3回	フルーツセイバー	2,000倍	前日・3回	パレード15フロアブル	2,000倍	前日・2回	ジチオカーバメート剤	ジマンダイセン水和剤	600倍	30日前・3回	アントラコール顆粒水和剤	500倍	45日前・4回	チオノックフロアブル	500倍	30日前・5回	フタルイミド剤 ビスグアニジン	オーソサイド水和剤	800倍	前日・6回	ベフラン液剤	1,500倍	前日・3回	ベルコート水和剤	1,000~2,000倍	前日・3回	キノン系	デランフロアブル	1,000倍	60日前・3回	マレイミド剤	ストライド顆粒水和剤	1,500倍	前日・3回	混合剤	ナリアWDG	2,000倍	前日・3回	アリエッティC水和剤	800倍	前日・3回	オキシラン水和剤 ダイパワー水和剤	500~600倍 1,000倍	14日前・4回 前日・3回	新規	ミギワ20フロアブル	2,000~4,000倍	前日・3回
分類	農薬名	濃度	使用時期・使用回数																																																																					
E B I 混合剤	ブローダ水和剤	500倍	30日前・3回																																																																					
	オンリーワンフロアブル	2,000倍	7日前・3回																																																																					
	アスパイア水和剤	500倍	30日前・3回																																																																					
S D H I 剤	カナメフロアブル	4,000倍	前日・3回																																																																					
	フルーツセイバー	2,000倍	前日・3回																																																																					
	パレード15フロアブル	2,000倍	前日・2回																																																																					
ジチオカーバメート剤	ジマンダイセン水和剤	600倍	30日前・3回																																																																					
	アントラコール顆粒水和剤	500倍	45日前・4回																																																																					
	チオノックフロアブル	500倍	30日前・5回																																																																					
フタルイミド剤 ビスグアニジン	オーソサイド水和剤	800倍	前日・6回																																																																					
	ベフラン液剤	1,500倍	前日・3回																																																																					
	ベルコート水和剤	1,000~2,000倍	前日・3回																																																																					
キノン系	デランフロアブル	1,000倍	60日前・3回																																																																					
マレイミド剤	ストライド顆粒水和剤	1,500倍	前日・3回																																																																					
混合剤	ナリアWDG	2,000倍	前日・3回																																																																					
	アリエッティC水和剤	800倍	前日・3回																																																																					
	オキシラン水和剤 ダイパワー水和剤	500~600倍 1,000倍	14日前・4回 前日・3回																																																																					
新規	ミギワ20フロアブル	2,000~4,000倍	前日・3回																																																																					
斑点落葉病の重点防除	8月上～中旬 (月 日)	黒星病 炭疽病 炭疽病 炭疽病 炭疽病	展着剤 ダイパワー水和剤 1,000倍 (100g) エクシレルSE 2,500倍 (40cc) カネマイトフロアブル 1,000倍 (100cc) アブロン 100倍 (1kg)	700ℓ SSは 600ℓ以上	開花期以降前日/3回 前日/3回 7日前・1回 ○	1. 早生種の収穫時期になります。注意して散布を行なう。 落果防止剤の使用時期 (月 日) ストッポール液剤 1,000~1,500倍 (収穫25~7日前1~2回)																																																																		
	8月下旬 (月 日)	黒星病 炭疽病 炭疽病 炭疽病 炭疽病	展着剤 ナリアWDG 2,000倍 (50g) バリアード顆粒水和剤 2,000倍 (50g)	700ℓ SSは 600ℓ以上	前日・3回 前日・3回	※シンクイムシ類の発生が目立つようであればフェニックスフロアブル・ディアナWDGを発生初期に使用してもよい。																																																																		
	9月上旬～中旬 (月 日)	黒星病 炭疽病 炭疽病 炭疽病 炭疽病	展着剤 ベルコート水和剤 1,000倍 (100g) テルスターフロアブル 3,000倍 (33cc)	700ℓ SSは 600ℓ以上	前日・3回 前日/1回	1. 近年、後半の高温ともなって、シンクイムシの被害が問題になってます。テルスターフロアブルを加用すること。																																																																		
	10月上旬 (月 日)	炭疽病 炭疽病 炭疽病 炭疽病	展着剤 ストライド顆粒水和剤 1,500倍 (66g)	700ℓ SSは 600ℓ以上	開花前まで/2回 開花から前日/3回	高温時の散布は落葉する恐れがあるので注意する。																																																																		

注意事項 農薬の使用にあたっては必ず商品ラベルの表示を確認し、ラベル記載どおりに使用して下さい。

## りんごの生態調査

(山形県農業総合研究センター園芸試験場調査)

品 種	発 芽 期			展 葉 期			開 花 期									収 穫 盛 期			備 考
	6年	5年	平年	6年	5年	平年	開 花 始 期			満 開 期			落 花 期			6年	5年	平年	
つが	4/2	3/24	3/29	4/10	4/3	4/10	4/19	4/20	4/27	4/26	4/29	5/3	5/1	5/4	5/8	9/2	8/22	8/31	
秋陽	4/2	3/23	3/29	4/8	4/1	4/8	4/21	4/20	4/27	4/26	4/28	5/3	4/30	5/3	5/8	10/3	9/22	10/2	
王林	3/31	3/22	3/26	4/7	3/31	4/6	4/17	4/16	4/24	4/23	4/21	4/29	4/28	4/27	5/5	11/6	10/31	11/3	
ふじ	4/2	3/23	3/30	4/8	3/31	4/8	4/20	4/19	4/27	4/25	4/25	5/1	5/1	5/1	5/7	11/15	11/20	11/14	